

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラ・クラッセ札幌N7W	階数	地上12F 地下1F
建設地	札幌市北区北7条西5丁目6-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	121 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年12月 竣工	評価の実施日	2016年12月16日
敷地面積	360 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	219 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月20日
延床面積	2,323 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.4

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.2

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.4

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.1

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 省エネルギーや省資源に配慮した建物を目指している。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b> 潜熱回収型給湯設備を使用し、省エネルギー効果を高めるように配慮している。</p>	
<p><b>B 省資源等</b> 有害物質を含まない材料の使用している。 乾式間仕切壁・ウレタン吹付断熱材など比較的分別の容易な材料を使用している。</p>	<p><b>C 緑化</b> 少ないながらも植栽を設け、景観へ配慮している。</p>	<p><b>D 雪処理</b> 敷地外へ雪の排出をしないようにロードヒーティングなどで配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される